

政策広報虎の巻

～広報だけれど、もはや広報ではない～

2024年12月10日

政策広報がなぜうまくいかないのか？

よく聞くお悩み：中身が広報に向かないので・・・

政策の中身自体が
国民一般に馴染みがない領域なんで

そもそも複雑で説明するのが難しい話なんで



政策広報が上手くいかない理由

だいたい、この二つに集約されます。

国民に何をして欲しいのか、はっきりしない

取組みに参加しても、手応えを感じられない

相手に何をして欲しいのか、
はっきりしない



相手に何をして欲しいか、はっきりしない

情報の受け手が**取るべき対応策を明確**にする or 自社の**公式見解をきっぱりと表明**する。
必要なのは「**曖昧さゼロ**」、保険をかけた抽象的な話は聞いてもらえない。

実際に同じ場面に出くわした場合の対応策が非常にわかりやすくまとめてあり、迷わない。

曖昧ではあるものの、当時農林水産省が打ち出せた最大限の対応策と、はっきりとした公式見解の表明。

MAFF 農林水産省
@MAFF_JAPAN

注文をしていない種子が海外から郵送される事例があるようです。外装に植物検疫の合格印のない植物が届いたら、そのままの状態以最寄りの **#植物防疫所** へご相談ください。
外装が未開封の場合は、配達後に受取を拒否できますので郵便局にご相談ください。詳細はこちら
<https://maff.go.jp/pps/j/informat>

海外から心当たりの無い種子が届いたら…

**畑、庭、プランターにまかないで！
植物防疫所にご相談ください！**

- 植物防疫所の検査が行われている荷物には合格スタンプが押されます。合格スタンプが無い種子が届いたら、最寄りの植物防疫所にご相談ください。
- 種子がビニール袋に入っている場合には開封しないでください。

合格スタンプの確認

袋を開封しない

午前11:56・2020年7月31日

344 5.4万 3.2万 1,676

MAFF 農林水産省
@MAFF_JAPAN

【ご注意ください】
生産者の皆さまが手塩にかけて育てた家畜や農作物、トラクター等の機械の盗難被害が発生しています。
農林水産省は警察庁とも連携し、盗難を防ぐポイント等を整理し注意喚起を行っています。生産者の皆さまにおかれましても、これらを踏まえて盗難被害に十分注意してください。

午後6:03・2020年9月3日

720 2.2万 2.1万 199



相手に何をして欲しいか、はっきりしない

“広く知って欲しい”は甘え！**情報を届ける相手を見極め、施策を“実行してほしい具体的な行動”にまで落とし込む。**

左： 典型的な「知って欲しい型」。「“応募”という行動が入っているじゃないか」と思われるかもしれないが、事前情報も興味もない講座に申し込むことは、**低関与層が多いXユーザーが、実行できる行動になっていない。**

（「関係者向けだ」というのは勝手だが、関係者なんて果たして何人いるのやら）

右： Xのユーザー・フォロワーに**実行してもらえるレベルの“具体的な行動”**（＝今回は、“知って欲しい”→“何点か採点する”）に落とし込むことで、エンゲージを高めている

△【農村プロデューサー養成講座(実践コース)の受講者募集中です！】

申込締切は、令和3年7月16日(金)です。

皆さまの、ご応募お待ちしております！

[#農林水産省](https://maff.go.jp/j/nousin/course/index.html)

<https://maff.go.jp/j/nousin/course/index.html>

○【何点だと思いますか？】

おはこんばんち！公務員クリエイターのTASOGAREです。

先日、施策PR用ポスターを作ったのですが、20点、50点、100点など様々な意見が飛び交っております。

あなたは何点だと思いますか？

[#農村プロデューサー](https://youtube.com/watch?v=ng3LeMxUjn8)

[#BUZZMAFF #農林水産省](https://youtube.com/watch?v=ng3LeMxUjn8)

<https://youtube.com/watch?v=ng3LeMxUjn8>

取組みに参加しても、
手応えを感じられない

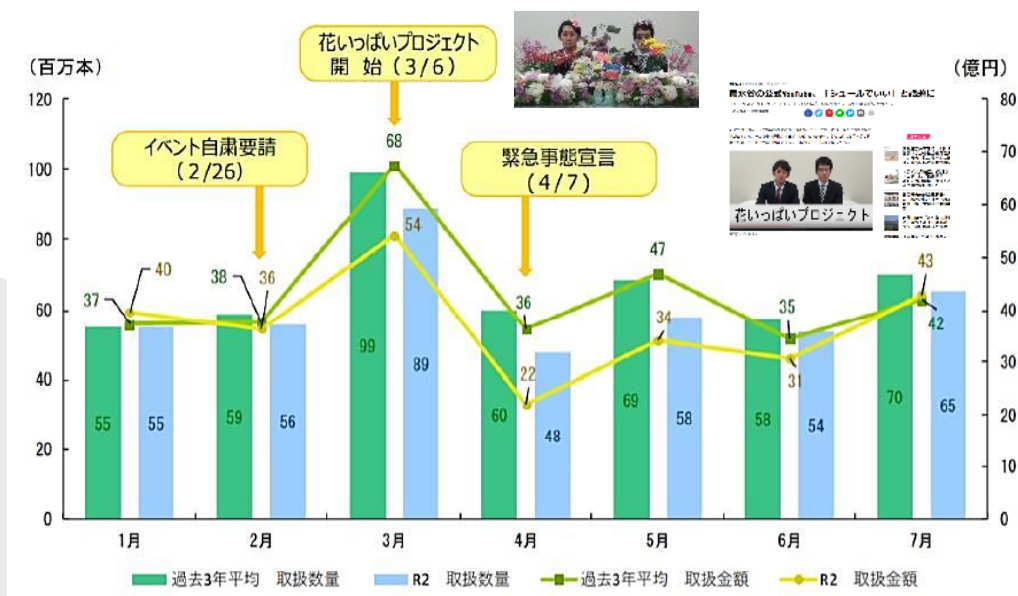


取組みに参加しても、手応えを感じられない

新型コロナウイルス流行時、需要が蒸発した花卉や給食用牛乳の消費拡大を国民に呼びかけるため、**公務員自らが“お願い営業”**を実施。情報発信施策としても、需要喚起施策としても成功を収める。

「花いっぱいプロジェクト」

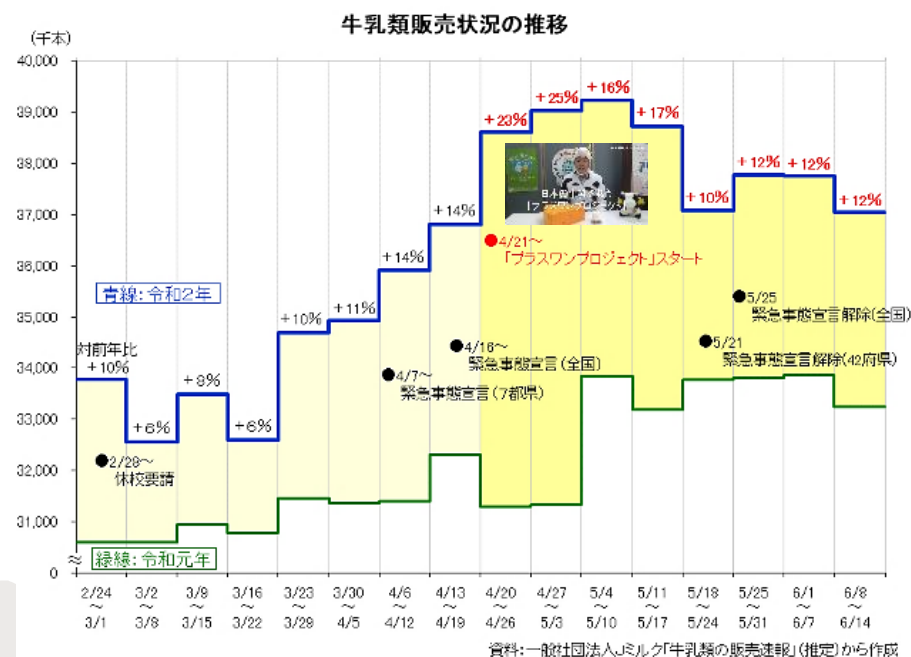
切り花の需要底支えに貢献



各種イベントが中止となり需要が蒸発した花き。
「花いっぱいプロジェクト」紹介と消費呼びかけで、
コロナ禍による落ち込みを可能な限り食い止める。

「プラスワンプロジェクト」

家庭用牛乳消費を2割UP！ 廃棄を回避



給食の停止で行き先を無くした給食用生乳。牛乳を
もう一杯、乳製品をもう一品多く消費する「プラス
ワンプロジェクト」への参加呼びかけが奏功。